

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	日常生活を援助する技術Ⅲ (食事/排泄)	学 期	前 期	広川 功士 (看護教員) 山田 奈穂子 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	人間にとっての「食事」「排泄」の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために必要な基本的知識・技術を学ぶ。			
目 標	1. 人間にとっての食事の意義を理解する。 2. 栄養に関する援助の必要性と方法を判断するためのアセスメントの視点について理解する。 3. 対象に応じた栄養摂取の基本的援助方法について理解する。 4. 安全・安楽・自立に配慮した食事摂取にかかわる基本的援助を身につける。 5. 人間にとっての排泄の意義を理解する。 6. 排泄に影響を及ぼす諸因子を理解し、排泄への基本的援助を身につける。			
授 業 計 画	担当教員：広川 功士			
	1. 食事			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	食事・栄養摂取の意義とアセスメント	1) 「食事」と「栄養」 食事・栄養に関するアセスメント NST (栄養サポートチーム)	講義/GW
	2	栄養摂取の方法と援助	2) 栄養摂取の方法 栄養摂取 (経口摂取法) の援助	講義/GW
	3	非経口的栄養法と援助	3) 経腸栄養 経鼻経管栄養法	講義/GW
	4、5	食事介助の実際 まとめ	4、5) 食事介助の実際	演習
	担当教員：山田奈穂子			
	2. 排泄			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	排泄とは	排泄の意義、メカニズム、排泄の援助	講義
	2	排泄のアセスメント	観察・情報収集、排泄機能の障害	講義/演習
	3	排泄援助	ポータブルトイレ、床上排泄 (便器・尿器)	講義/演習
	4	〃	床上排泄の援助、おむつ交換	演習
5	浣腸、摘便	グリセリン浣腸、高圧浣腸、摘便	講義	
6	浣腸、摘便、導尿	グリセリン浣腸、高圧浣腸、摘便、導尿	講義/演習	
7	〃	導尿と無菌操作	演習	
8	〃	導尿と無菌操作	演習	
9	膀胱留置カテーテル	〃	講義/演習	
10	まとめ	グループワーク	演習	
教科書	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社			
参考文献	看護技術プラクティス 第4版 学研メディカル秀潤社 写真でわかる臨床看護技術② インターメディカ			
評価方法	1. 食事 (試験 15 点、提出物・態度 15 点:合計 30 点) 2. 排泄 (70 点) 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ 栄養学			
自己学習に関する指針				
その他の 通知事項				